



平成27年5月22日

各位

会社名 Oak キャピタル株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼CEO 竹井 博康  
(コード番号 3113 東証第二部)  
問合せ先 IR・PR室長 小玉 誠一  
(TEL. 03-5412-7700)

## 2015年度の経営計画について

当社は、2013年より資本市場の好転から投資銀行業務を積極的に展開し、前期までの経営計画は予定通り達成致しました。2015年度も国内の上場企業の企業業績は好調に推移しており、来期の業績も2桁の成長が予想されております。

また、企業の株式配当も大幅に増大しており、今後も政府の金融緩和や経済対策ならびに2020年の東京オリンピックに向けた経済効果を背景に、当面の株式市場は好調に推移すると予測されます。

しかしながら、当社はこうした好経済環境であっても、予測できない市場環境に対応できる成長戦略を持ち、且つ、企業価値を高め続けていくことが、当社の目指す経営戦略であると考えております。

### □ 2015年3月期の経営成績 -2期連続増収増益-

営業収益 (売上高) 83億円 前期比118%増

営業利益 21億円 前期比252%増

純利益 18億円 前期比246%増

自己資本利益率 (ROE) 32.6%

キャピタルゲイン収入 31億円

### □ 2015年の経営計画の骨子

#### 基本戦略1

#### 事業収益の最大化と安定収益

#### 1 投資銀行業務を強化 投資額は前年2倍の160億円

キャピタルゲインの増収を目的に投資額を倍増  
(2014年は投資額81億円・キャピタルゲイン収入は31億円)

#### 2 投資銀行業務は支援投資と 再生投資の2路線で推進

新興市場の企業向け支援投資件数と  
企業再生投資件数を倍増する

#### 3 事業投資部門を本格的に開始 投資計画は30億円

将来に向けた、成長事業の構築を目的に、  
成長事業のM&Aを実施

#### 4 収益構造をキャピタルゲイン収入と グループ事業からの安定収入

収益構造を市場環境に左右されない  
経営基盤と成長する事業モデルにより構築

## 基本戦略2

### 経営基盤の改革により質的転換

#### 1 投資銀行部門と事業投資部門の2事業体制でバランス経営

真似のできない投資スキームで高収益と将来の柱となる成長事業の構築

#### 2 高収益事業に加え、持続的収益事業により、自己資本利益率を向上

キャピタルゲイン収入と安定した事業収入を構築し、継続して自己資本利益率(前期ROE32.6%)を向上

#### 3 投資戦略と事業戦略

- ・成長力のある事業へ投資&出資
- ・収益率の高い事業へ投資&出資
- ・期待される事業へ投資&出資
- ・ブランドの高い事業へ投資&出資

#### 4 事業価値及び企業価値の質的転換

目指す経営戦略は「成長する企業」「魅力的な事業」「信頼と期待の企業」の事業構造で企業価値の向上へ

## 基本戦略3

### 財務体質のさらなる強化

#### 1 独自の投資スキームによる高収益運用と投資回転率の向上

90%以上の自己資本比率を継続(前期の自己資本比率91.3%)

#### 2 投資事業スタート時より銀行借入に頼らぬ無借金経営を継続

自己資本による投資は効率の高いリターン率を挙げる(前期の投資回収利回り60%)

## 基本戦略4

### 株主還元と株主価値の向上

#### 1 配当性向30%以上目標 出資先企業のブランド商品を贈呈

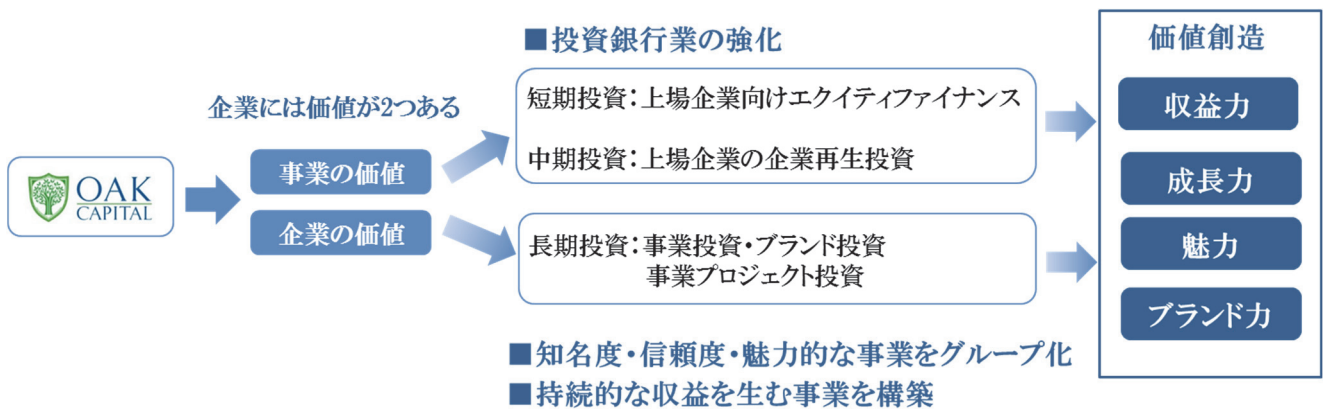
前期の年間配当は5円(配当性向13.1%)を実施。  
シルバーウェア最高級ブランド「クリストフル」商品を株主優待に採用

#### 2 投資銀行業務と成長事業への投資を展開し株主価値を高める

金融と事業の、二つの柱を価値創造する事業モデルとして成長戦略を推進する

□ 当社の経営戦略は企業価値の向上を目指すこと

「成長する企業」「魅力的な事業」「信頼される企業」「ブランド企業」として推進



当社は、投資先企業の成長戦略や事業戦略を達成するためのタグポート役を経営理念として、リスクを共有し、高次の志を達成することを目指して取り組んでおります。

投資銀行の業務を通じて、企業の未来に向け支援することで、社会の一員として貢献を果たすと同時に、事業価値と企業価値を備えた企業集団を目指し、さらなる成長軌道に向け業務に邁進する方針であります。

以 上